

原爆投下によって、この一帯は、町もお寺もすべて消滅してしまいました。何もなくなつた中で、広島市の北の山奥から大きな仏様が、丁度この場所に運んで来られました。当時、「広島大仏」と呼ばれた大仏さんは、被爆者が一番大変な時に、多くの人々の深い悲しみ、苦しみを静かに一身に受け止め、慰められたのでした。

その後、平和公園建設に伴って、広島大仏さんは行方不明となってしまいましたが、数年前、奈良市の極楽寺さんに安置されていることが分かりました。そのお寺の住職さんが私たちのこのセレモニーの前を偶然通りかかれ、フラッグを掲げて一緒にご参加下さったことがきっかけです。

かつて広島大仏がおられ、多くの人々が参拝されていたまさにこの場所で、私たちは毎年フラッグセレモニーを開催させてもらっていたことを初めて知りました。広島市民でも広島大仏のことを知っている人は、ほとんどいなくなっています。

そうした不思議な縁で、奈良市の極楽寺さんは、毎年この8月6日に、私たちと同じ世界各国の平和を祈る行事を開催されておられます。

その極楽寺の住職からメッセージを戴いていますので、ご紹介します。

(メッセージの朗読)

ありがとうございました。

以上